

夕陽丘・生玉地区の基礎情報

1. 計画の位置づけ

上位計画

新・大阪市緑の基本計画(H25.1)

基本理念

みどりの魅力あふれる大都市・大阪

～だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの都市”へ～

<保全配慮地区の考え方>

- 風致景観の保全、生態系の保全、市民の自然とのふれあいの場提供の観点等から、今後の地区内における緑地保全施策、保全配慮計画を検討・策定し、実践していく。
- みどりの保全の重要性を明らかにし、意識啓発を図り、市民・事業者・行政が一体となって貴重なみどりの保全につなげていく。

<保全配慮地区の設定>

- 大阪の個性を特徴づける“みどりの骨格”に位置づけているエリアを中心に、4地区を設定

- ① 夕陽丘・生玉地区
- ② 天王寺地区
- ③ 杭全地区
- ④ 聖天山地区



関連計画

大阪のまちづくりグランドデザイン(R4.12)

- まちづくりの基本目標
「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」
- まちづくりの戦略と取組と方向性が示されており、みどりに関連するものとして以下が挙げられている。
 - ・ 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間
 - ・ 豊かな都市空間を想像するまちづくり
 - ・ グリーン社会実現に向けたまちづくり など

大阪市生物多様性戦略(案)(R2.12)

- 上町台地を、「生物多様性ホットスポット」と位置づけ。
- 生國魂神社、夕陽丘・生玉保全配慮地区を、「生態系ネットワークの拠点となりうる貴重な自然環境」と位置づけ

天王寺区将来ビジョン(R4.4)

- 5項目の将来像のうち、みどり関連では、以下を上げている。
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

大阪市景観計画(R2.10)

- 景観形成の目標
- 都市の風格や活力を高め、まちへの愛着や誇りを育む大阪らしい景観をつくる
- 上町台地景観配慮ゾーンの設定
- 坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかして、坂の下からの見え方への配慮や、歴史的景観資源や緑との調和に配慮したまちなみ景観の形成を図るゾーン

風の道ビジョン(H23.3)

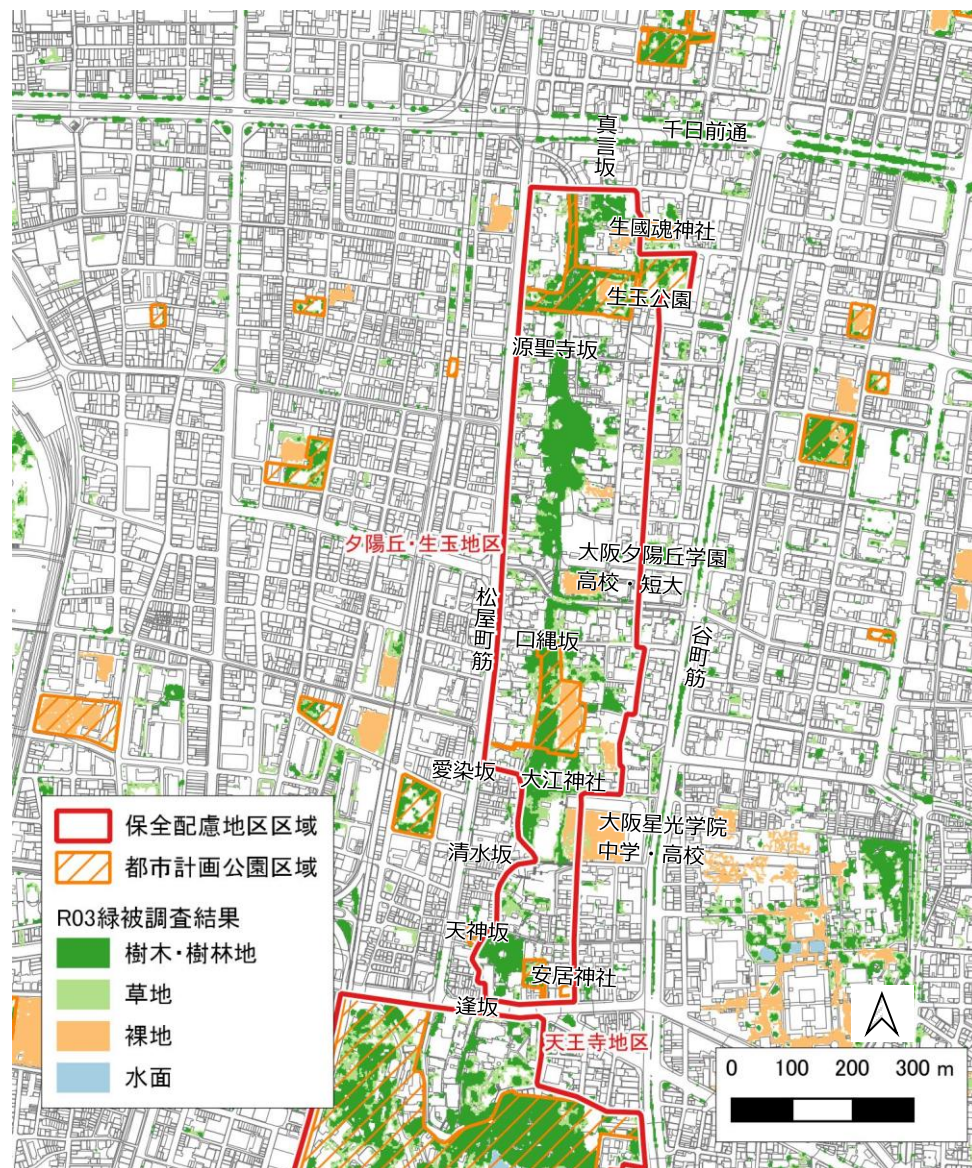
- 将来像
- 水と緑に包まれ心地よい風が流れる環境先進都市 大阪
- 3つの戦略
- 「風通しのよいまちをつくる」、「涼しい『風』を保つ」、「協働と連携を強化する」

上位計画・関連計画を踏まえ、「夕陽丘・生玉保全配慮計画」を今後作成

2. 夕陽丘・生玉地区の現況

(1)地区の概要

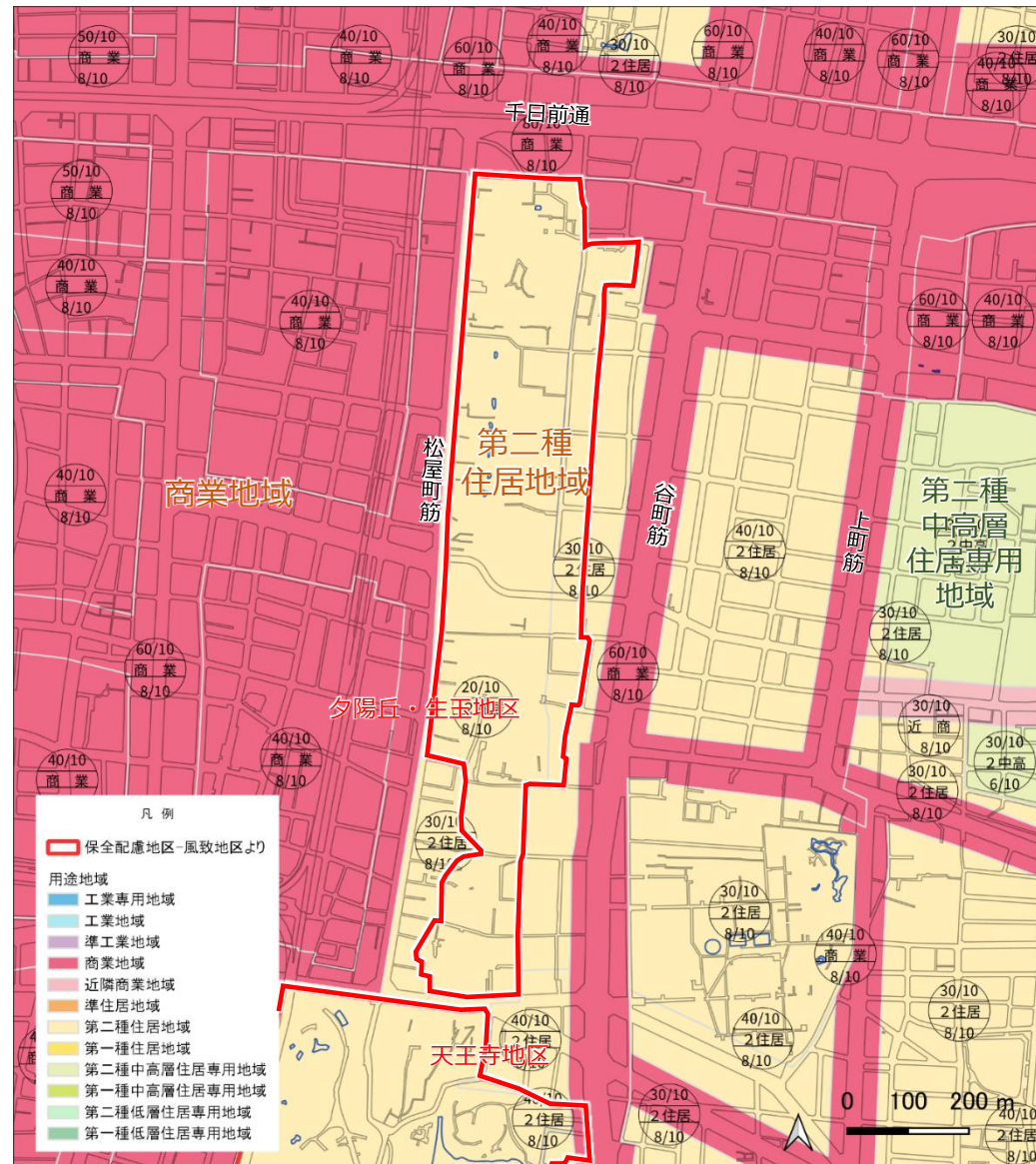
- ・ 上町台地の西端部に当たり、地区の中央部に南北に上町台地西側の斜面が走る。斜面部分は、生玉公園の緑をはじめ、生國魂神社や大江神社などの神社や寺院境内の緑、上町台地の西側斜面の樹林などが連なって、まとまった緑が形成されている。
- ・ 斜面の樹林を挟んで、上下に寺院や神社などが集まり、市内でも有数の寺社町を形成している。
- ・ 大阪夕陽丘学園短大・高等学校、大阪星光学院中学校・高等学校が立地する文教地区となっている。
- ・ 地区内を東西に走る道路は、台地の上下をつなぐ急な坂道となっており、天王寺七坂と呼ばれ、多くの寺社とともに、歴史的な景観を形成している。



地区概要図

(2) 用途地域

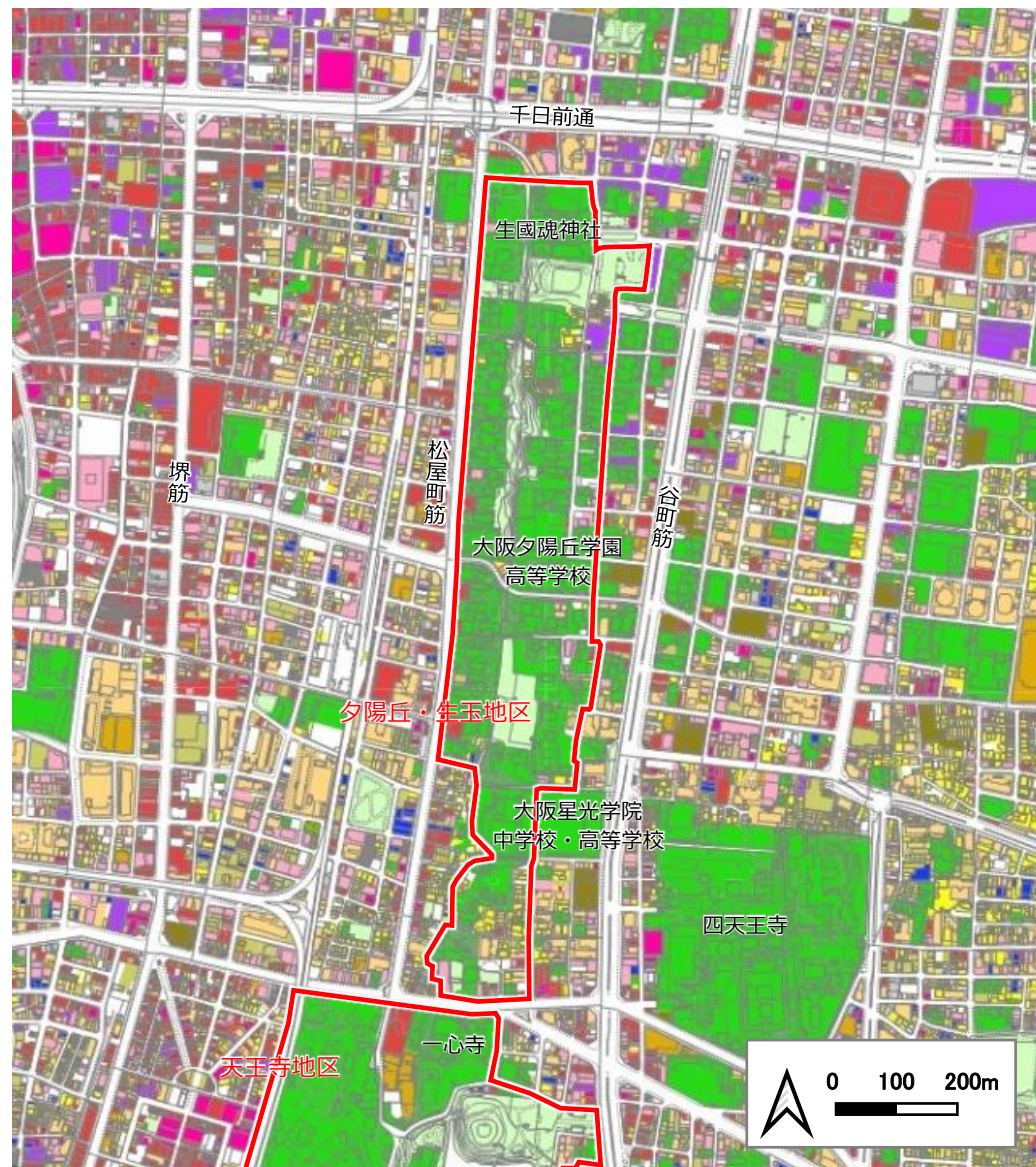
- ・ 夕陽丘・生玉地区は、全域が第2種住居地域に指定されている。
- ・ 周辺地域では、地区の北側と西側が商業地域に指定されており、地区の東側は、谷町筋、上町筋などの主要道路沿いが商業地域、その他は主に第2種住居地域に指定されている。



用途地域図

(3) 土地利用

- 神社および寺院境内の文教施設が多くを占めている。
- 地区北部の生玉公園および地区を南北に走る上町台地の西端をなす崖線沿いの区域が公園緑地等となっている。
- 大阪夕陽丘学園高校・短期大学と大阪星光学院中学校・高校という2ヶ所の教育施設がある。
- 地区の周辺では、商業施設、業務施設、宅地等が混在する。また、四天王寺、一心寺など、大規模な宗教施設が立地している。



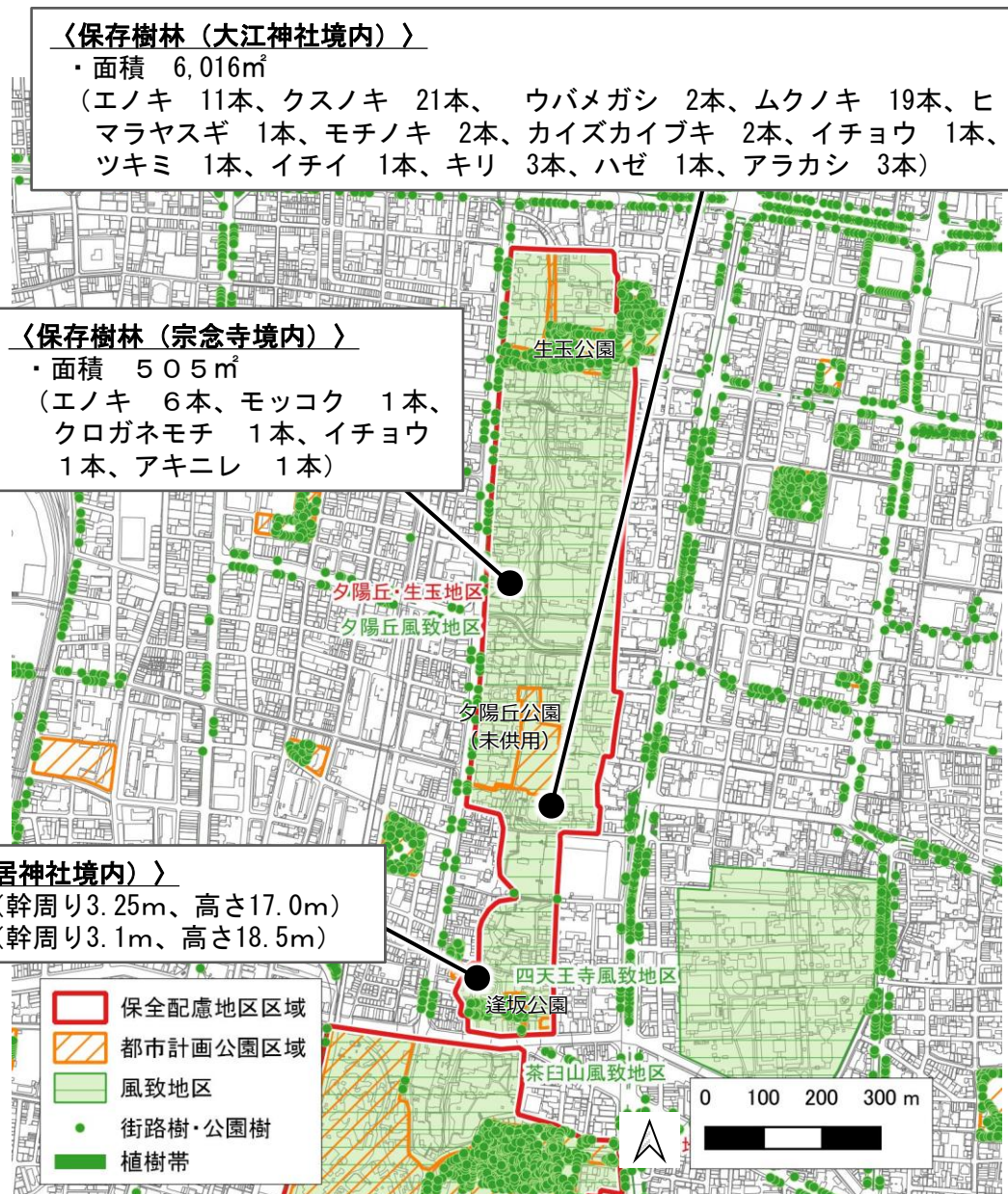
※マップナビおおさか『令和3年度土地利用現況』に一部追記
土地利用図

(4) 公園緑地等

- 都市計画公園では、北側に生玉公園(地区公園)、南側に逢坂公園(街区公園)がある。
- 口縄坂と大江神社の間の区域に夕陽丘公園(※未供用、夕陽丘学園用暫定グラウンドとして使用)がある。
- 地区の周辺の主な街路樹として、地区の西側に接する松屋町筋にヤマモモなどの街路樹が、地区の東側の谷町筋にサワラやシラカシなどの街路樹がある。

(5) 地域制緑地等

- 地区の全域が、夕陽丘風致地区に指定されている。
- 宗念寺境内のエノキ6本他と大江神社境内のエノキ11本他が保護樹林に、安居神社境内のクスノキが保護樹に指定されている。
- その他に、保護樹への指定を検討すべき、地区内の幹周200cm以上の樹木(イチョウ、ケヤキ、ムクノキ等)が地区内に複数見られる。

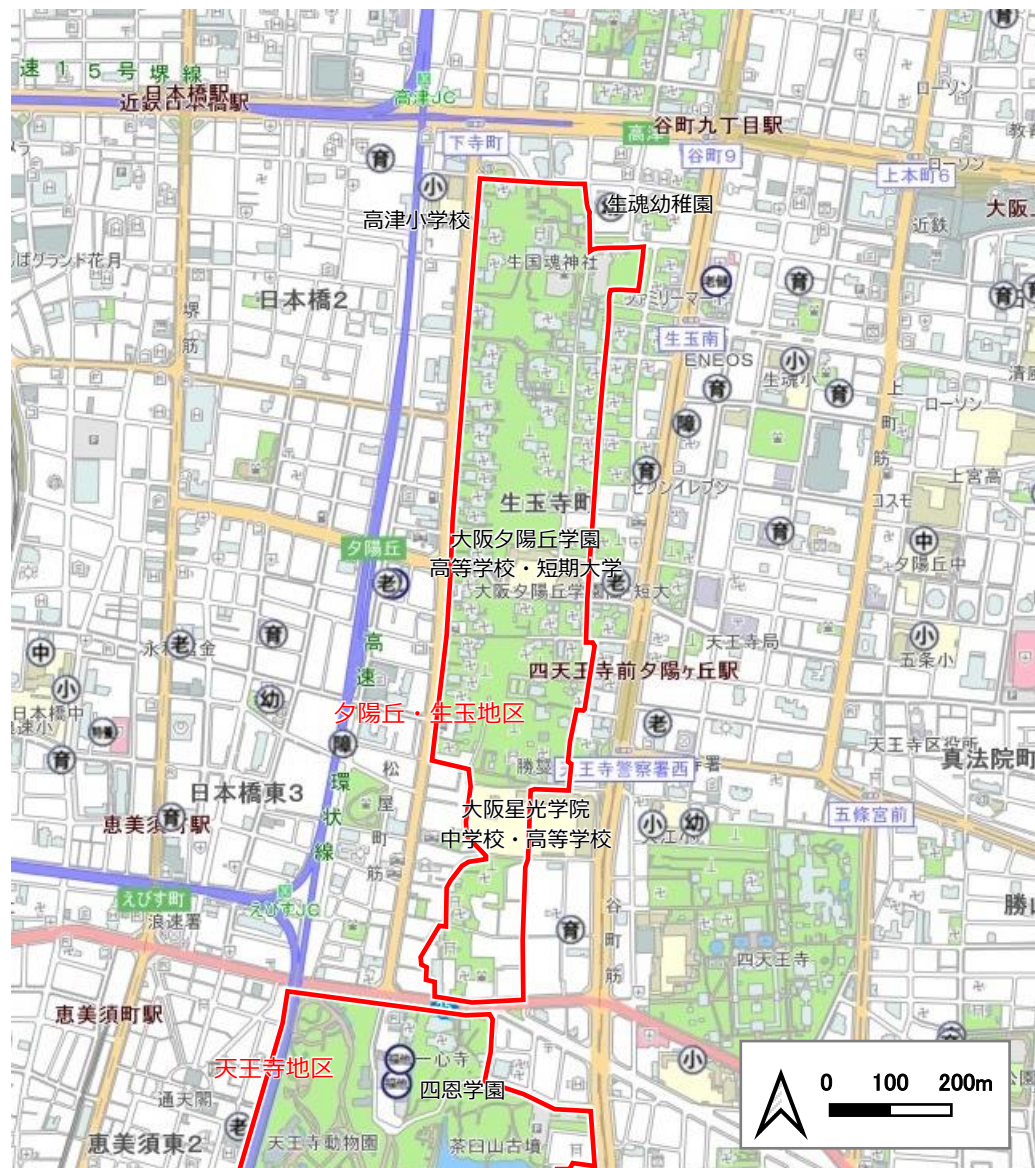
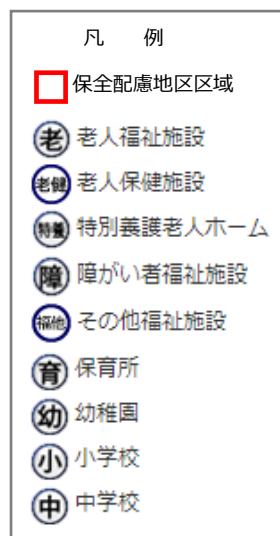


公園緑地等の施設緑地図

(6) 主な施設等

1) 学校およびその他の施設

- 地区内の学校としては、大阪夕陽丘学園高等学校・短期大学、大阪星光学院中学校・高等学校がある。
- 周辺地域では、高津小学校、生魂幼稚園、児童養護施設の四恩学園などがある。

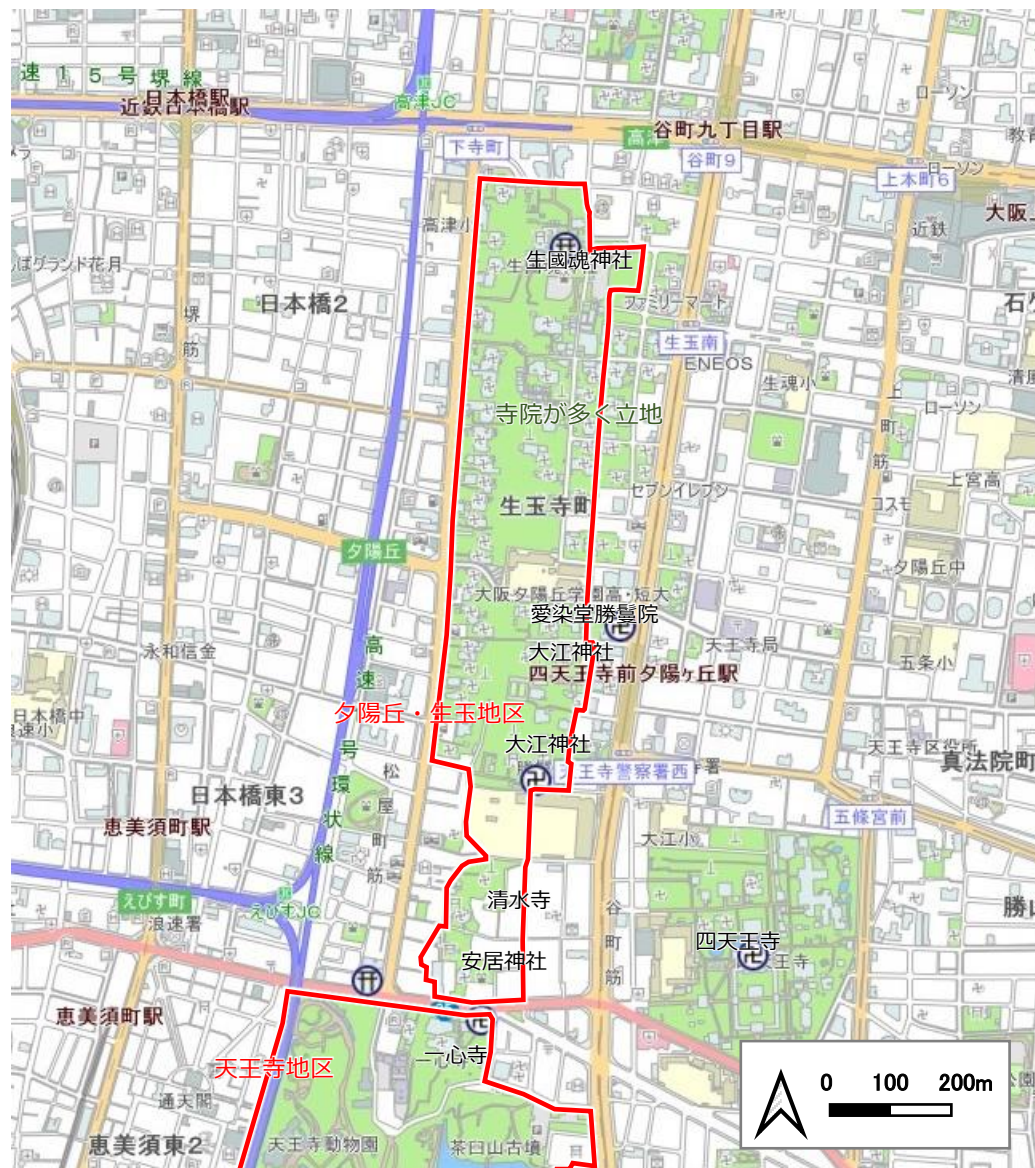


※マップナビおおさか『施設情報マップ』に一部追記
学校・文化施設・福祉施設等位置図

(6)主な施設等

2)神社・寺院

- 地区内の神社として、生國魂神社、大江神社、安居神社がある。
- 大阪の三大夏祭りの一つである「愛染まつり」で知られる勝鬘院や、「玉出の滝」がある清水寺をはじめ、数多くの寺院が集まっている。
- 地区の周辺部でも、寺院が数多くあり、特に地区の東側に多くの寺院があるほか、地区南側には一心寺、南東側には四天王寺という大規模な寺院がある。

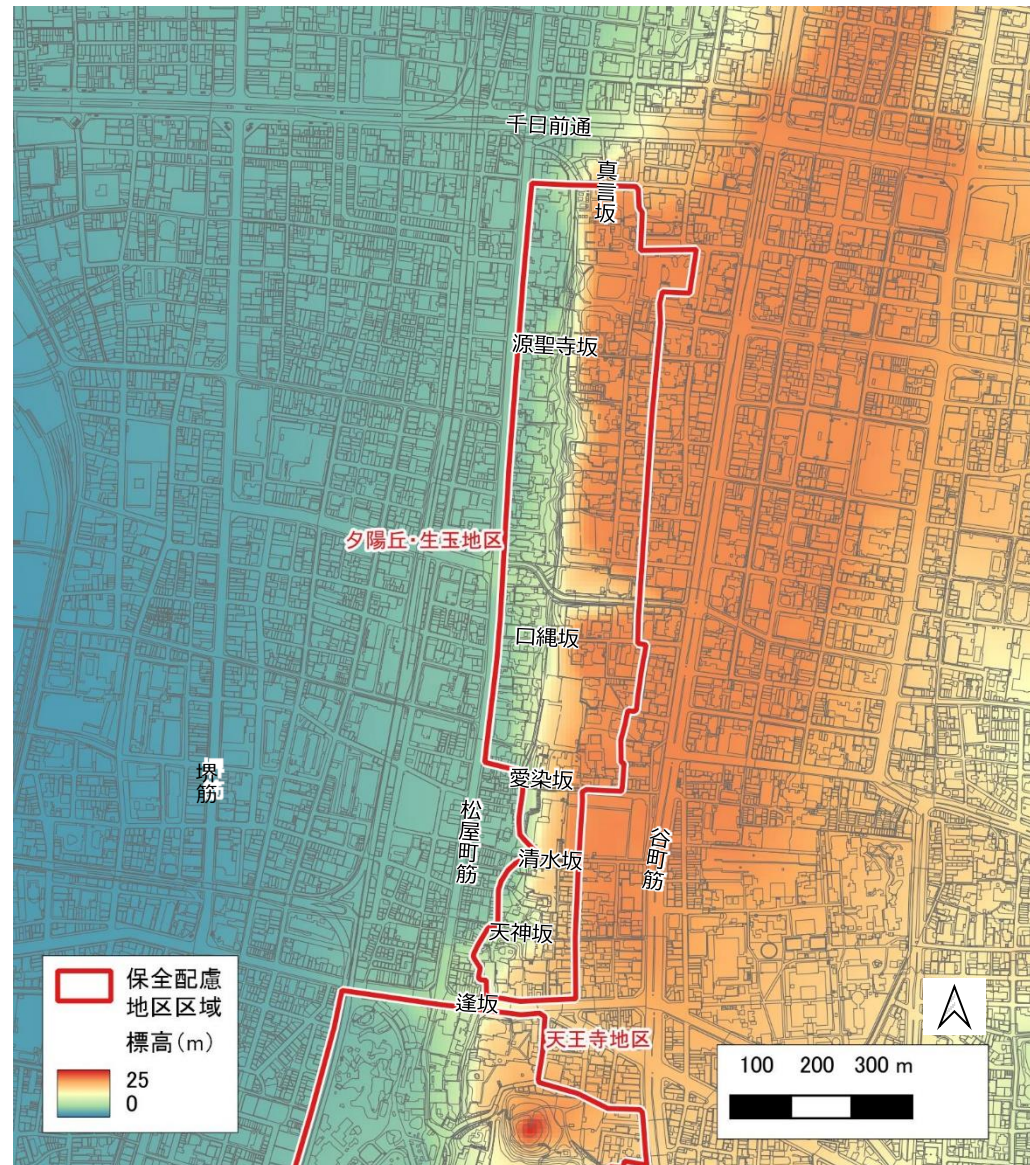


※マップナビおおさか『施設情報マップ』に一部追記
神社・寺院位置図

(7) 自然環境

1) 地形

- ・ 夕陽丘地区は、大阪平野のほぼ中央を南北に細長のびる上町台地の西端部に位置する。
- ・ 上町台地の東側がなだらかに下がっているのに対して、西側は大阪湾の潮流に削られた急斜面の崖（高低差18m前後）となっており、この斜面の下が下寺町を中心とした区域、および松屋町筋にあたる。
- ・ 松屋町筋と台地の上をつなぐ東西方向の道路は、小さな浸食谷を利用したもので、大阪市内では珍しい急な坂道となっており、天王寺七坂と呼ばれている。
- ・ 崖の斜面上には広い範囲で樹木が生い茂り、市内では珍しく開発の手も及ばない自然林に近い樹林帯を形成している。



地形図

(7) 自然環境

2) 植生等

- 令和5年(2023)に実施された大阪市域生き物調査では以下の生き物が確認された。

生國魂神社No.520

・アオスジアゲハ4
・アゲハ4
・オオズアリ属の一種4
・クスベニヒラタカスミカメ0食痕
・クマゼミ0羽化殻
・クロヤマアリ4
・シジウカラ4
・セイヨウミツバチ4
・タイワンタケクマバチ4
・ナミテントウ0羽化殻
・ニホンヤモリ4
・ハシブトガラス0声
・ヒトスジシマカ4
・ヒロヘリアオイラガ0羽化後繭
・モンシロチョウ4
・ユミアシゴミムシダマシ4
・外来ハゴロモ2
アオイゴケ1
アメリカフウロ2,3
アレチヌスビトハギ1
イヌタデ1
イヌビワ1
ウラボシチチコグサ3
オオバコ2,3

オニタビラコ2,3
カモジグサ3
カラクサナズナ3
キカラスウリ1
キヌゲチチコグサ2,3
キュウリグサ2,3
クサイ2,3
クスノキ●2,3
ケカガミゴケ1
コゴメゴケ2
コマツヨイグサ2,3
コマツブツメクサ2,3
サツキ●2
サヤゴケ1,2,3
スズメノカタビラ3
スマレ属の一種3
タチイヌノフグリ3
チチコグサ2,3
ケチヂミザサ1
ツタ1
ツメクサ属の一種3
トキワハゼ2
トゲチシャ1
ナガミヒナゲシ3
ナギナタガヤ2,3

ノゲシ2,3
ハタケニラ2,3
ヒナキキョウソウ2,3
ヒナタイノコヅチ1
ヒナノハイゴケ1,2
ヒメアカヤスデゴケ1
ヒメジョオン3
ヒメツルソバ2,3
ヒメミノリゴケ1
ヒメムカシヨモギ1
ヒヨドリジョウゴ1
ヒロハツヤゴケ1
フルノコゴケ1
ヘクソカズラ1
ヘラオオバコ2
ホソバノチチコグサモドキ2
マメゲンバイナズナ3
ミドリハコベ1
ムクノキ4
ムシクサ3
メリケンキンソウ2,3
ヤブガラシ1
ヤブジラミ3
ヤブヘビイチゴ3



源聖寺坂No.520

・アメリカジガバチ1,0巣痕
・オオスカシバ4
・スズメ4
・ハキリバチ科の一種4
・ハラビロカマキリ0孵化後卵鞘
・モンシロチョウ4
アオカモジグサ2,3
アレチノギク1
イヌビワ1
イヌホオズキ1
エノキグサ1
オニタビラコ2,3

カニクサ1
カモジグサ2,3
カラクサナズナ2,3
キュウリグサ2
クスノキ4
セイタカハハコグサ2
チチコグサモドキ2,3
チドメグサ2
ツメクサ属の一種2,3
トキワハゼ2
ドクダミ1
ノゲシ2,3
ハコベ属の一種3

ヒメジョオン1
ヒメムカシヨモギ1
ヒロハホウキギク1
ベニバナボロギク1
ホソバノチチコグサモドキ2,3
ホトケノザ1
マツバウンラン2
マメカミツレ2
ムシクサ3
ムラサキカタバミ2
ヤブガラシ1

口縄坂No.551

・アミメアリ4
・キマダラカメムシ4
・ギンメッキゴミシモ4
・クロガケジグモ0巣
・クロヤマアリ4
・コナゴミシダマシ4
・スズメ0声
・セイタカアワダチソウヒゲナガ
アブラムシ2,4
・セグロカブラハバチ4
・ハシブトガラス0声
アオイゴケ1
アカカタバミ2
アカスジゴケ?1
アカメガシワ1,4
アケビ1,4
アメリカフウロ2,3
イヌビワ4
イヌムギ2
ウラボシチチコグサ2,3
エノキ4
エノキグサ1
オオアレチノギク1
オオヒカゲミズ2,3

オッタチカタバミ3
オニタビラコ2,3
カタバミ1
カタバミ属の一種1
カニクサ1
カモジグサ3
キカラスウリ1
キュウリグサ2
ギンゴケ1
コセンダングサ1
コニシキソウ2,3
コマツヨイグサ1
スズメノカタビラ3
セイタカアワダチソウ1
セイタカハハコグサ3
タチイヌノフグリ3
タンポポ属の一種1
チチコグサモドキ2,3
チドメグサ1
ツタ1
ツタバウンラン2
ツメクサ属の一種2,3
ツユクサ1
ツユクサ科の一種2
トキワハゼ2

ドクダミ2
ナガミヒナゲシ2,3
ネズミムギ2,3
ノゲシ2,3
ノビル3
ハゼノキ4
ヒナキキョウソウ2,3
ヒナタイノコヅチ1
ヒナノハイゴケ3
ヒメクグ2
ヒメコバンソウ3
ヘクソカズラ1
ホソバノチチコグサモドキ3
ホトケノザ1
ムクノキ4
ムラサキカタバミ2
メリケンカルカヤ1
ヤエムグラ3
ヤブガラシ1
ヤブジラミ3
ヨウシュヤマゴボウ1
レブラゴケ属の一種1

大江神社No.582

・クスベニヒラタカスミカメ0食痕
・クロガケジグモ0巣
・クロギブリ2
・チャコウラナメクジ4
・ツトガ科の一種4
・ヒロヘリアオイラガ3
アオツヅラフジ1
アカカタバミ2
アメリカフウロ2,3
アレチヌスビトハギ1

イヌコハコベ3
ウラボシチチコグサ1
オオバコ1
オッタチカタバミ2,3
オニタビラコ2,3
オランダミナグサ3
カニクサ1
カモジグサ3
キヌゲチチコグサ2,3
キュウリグサ2
クワクサ1

サカキ●2,3
サヤゴケ3
スズメノカタビラ3
スズメノヤリ2,3
ケチヂミザサ1
ツメクサ属の一種2,3
トキワハゼ2
ナガミヒナゲシ3
ナギナタガヤ3
ノゲシ1
ヒナタイノコヅチ1

ヒメジョオン2
ヒヨドリジョウゴ1
ヒロハツヤゴケ1
ヘクソカズラ1
マスカサ3
ムカデゴケ1
ムラサキカタバミ1
メリケンキンソウ3
ヨモギ1
レブラゴケ属の一種1
外来タンポポの一種2

【出典：大阪市域生き物調査 上町七坂（2023.5月実施）より作成】
（地区内の主要な調査地点の結果のみを整理）

種名とともに、状態を表す記号を付記。

- 1: 葉, 卵, 配偶体(藓苔類等) 2: 花, 幼虫, 幼鳥, 胞子体未成熟(藓苔類)
3: 果実, 蛹, 胞子体成熟(藓苔類) 4: 実生, 成虫, 成鳥, 枯死, 休眠(藓苔類)
0: 胞子, 無性芽(藓苔類), その他

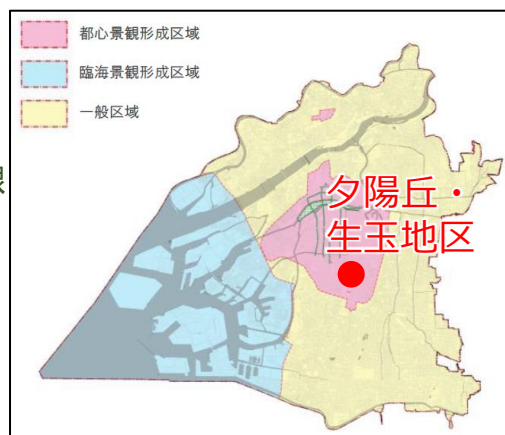
※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録

「・」: 動物
「◎」: 親木が近い実生

「●」: 植栽, 逸出と思われる植物
「★」: 特定外来生物

(8) 景観計画

- 地区の全域が、「大阪市景観計画」における基本届出区域のうち、都心景観形成区域に含まれている。
- 地区の西側の松屋町筋に面した部分が「道路景観配慮ゾーン」に、その他の区域が「上町台地景観配慮ゾーン」に指定されている。
- 都市景観資源としては、真言坂から逢坂までの天王寺七坂や、生國魂神社、大江神社、安居神社、齡延寺、銀山寺、愛染堂、清水寺の社寺に加えて、「お寺のまち・下寺町と斜面緑地」および「伝藤原家隆墓」が指定されている。



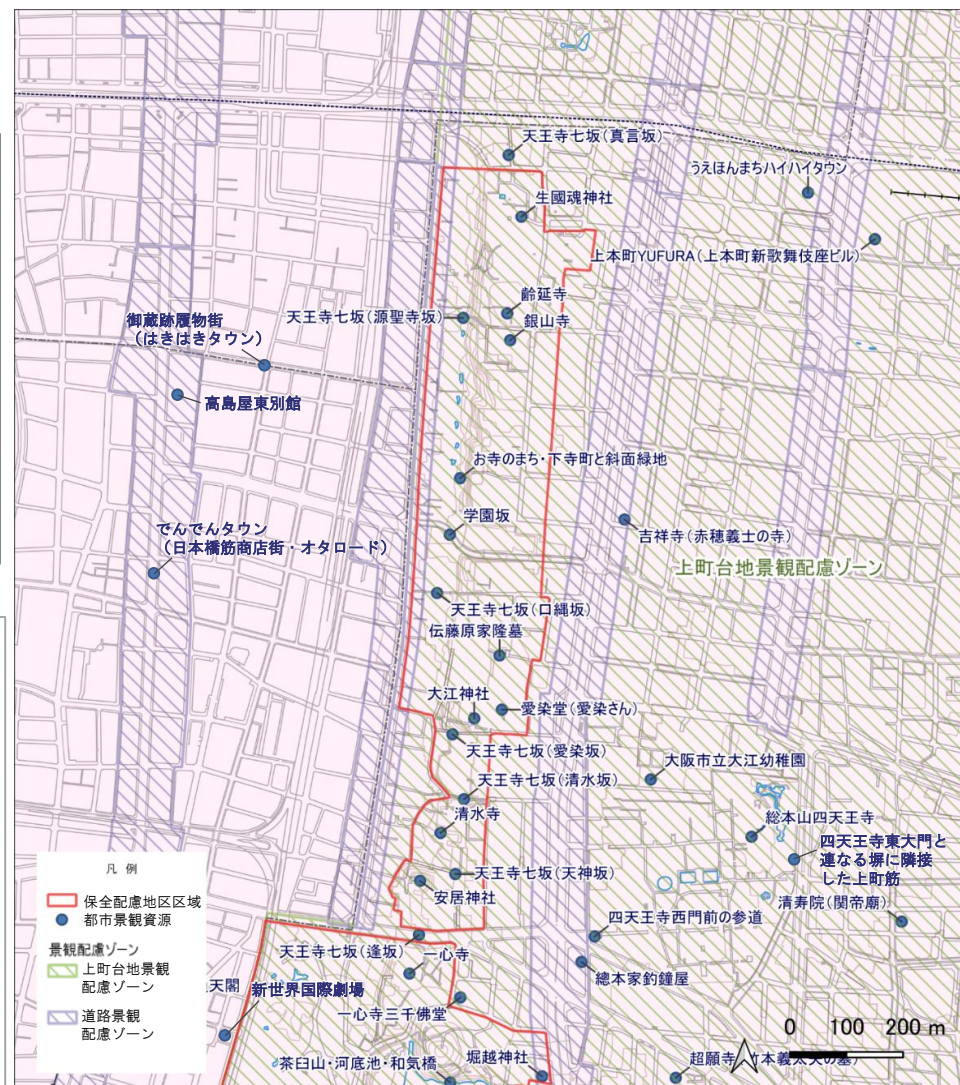
【大阪市景観計画における景観計画区域】

【上町台地景観配慮ゾーンの方針】

- 坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成
- ・ 坂の下からの建築物の見え方への配慮
- ・ 歴史的景観資源の保全・活用、これらの資源との調和に配慮したまちなみの形成
- ・ 緑の保全、緑との調和に配慮したまちなみ景観の形成

【道路景観配慮ゾーンの方針】

- 歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成
- ・ 建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみの形成、歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観の形成
- ・ 建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観の形成

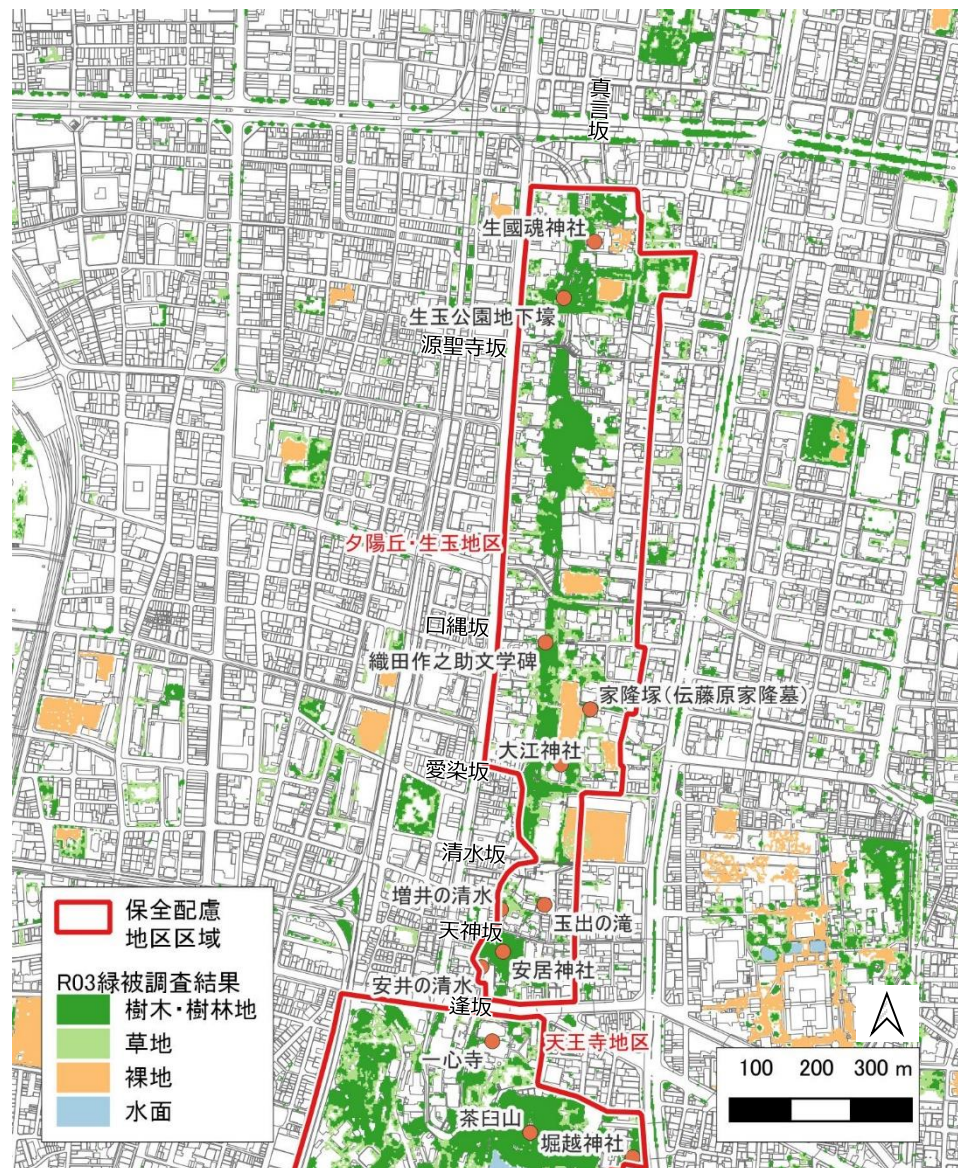


景観計画に係る区域設定および都市景観資源位置図

(9) 歴史文化

1) 地区の歴史

- ・「夕陽丘」の地名は、鎌倉時代初期の歌人で新古今和歌集の選者の一人である藤原家隆が、この地に夕陽庵(せきようあん)という小庵を設けたことが由来であるといわれる。
- ・大阪の寺町は、天正11(1583)年に始まる豊臣秀吉の大坂城築城により、生国魂神社と神宮司法案寺を四天王寺の北方に移すとともに、その周辺に寺町を計画したことに始まる。
- ・大阪の寺町の江戸期の建築物の多くは、戦災によって焼失しているが、夕陽丘・生玉地区では、類焼を免れた寺院建築が多く残されており、寺町の景観をよく伝えている。
- ・この地区の坂の上は、落陽を觀賞する絶好の場所として知られ、浮瀬、西照庵などの料亭も設けられていた。
- ・この付近一帯は昔から名泉どころとして知られ、天王寺七名水と呼ばれた井戸の跡や玉出の滝などがある。

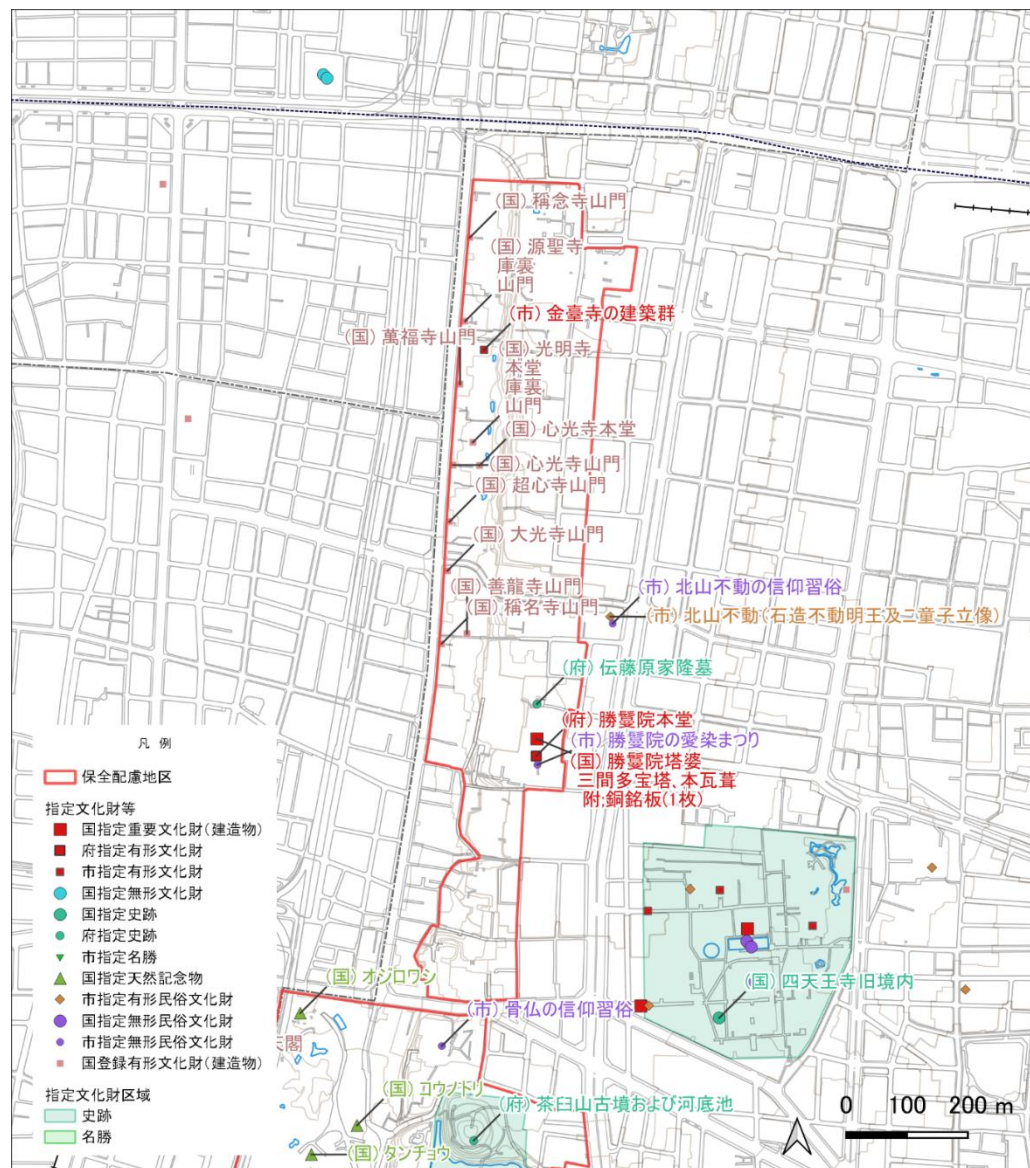


主な歴史文化資源位置図

(9) 歴史文化

2) 文化財

- ・ 国指定の重要文化財として勝鬘院塔婆・三間多宝塔・本瓦葺、国指定の登録有形文化財として、右図の各寺院の山門等が指定されている。
- ・ 府指定の有形文化財として勝鬘院本堂、府指定の史跡として伝藤原家隆墓が指定されている。
- ・ 市指定の有形文化財として金臺寺の建築物群、無形民俗文化財として勝鬘院の愛染まつりが指定されている。



指定文化財等位置図

(9) 歴史文化

3) 土地利用の変遷

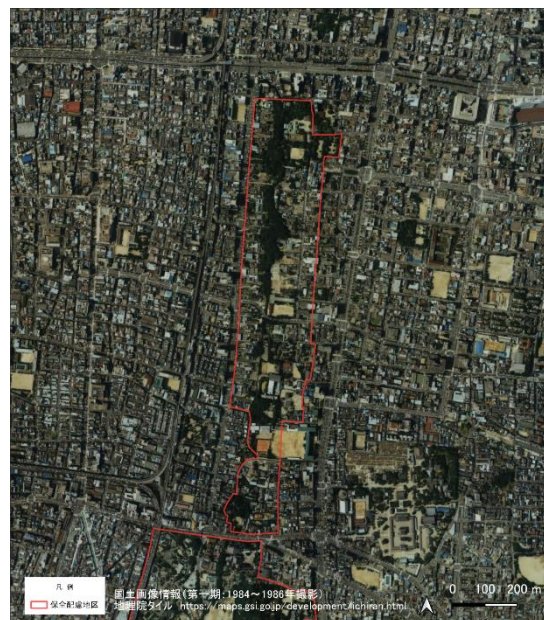
- 1942年から2023年までの航空写真を右に示した。
- 周辺のまちなみは変化しているが、寺町の町割りや、地区中央の斜面林がよく残っていることが分かる。



1942年(国土地理院撮影)



1961～1964年(国土地理院撮影)



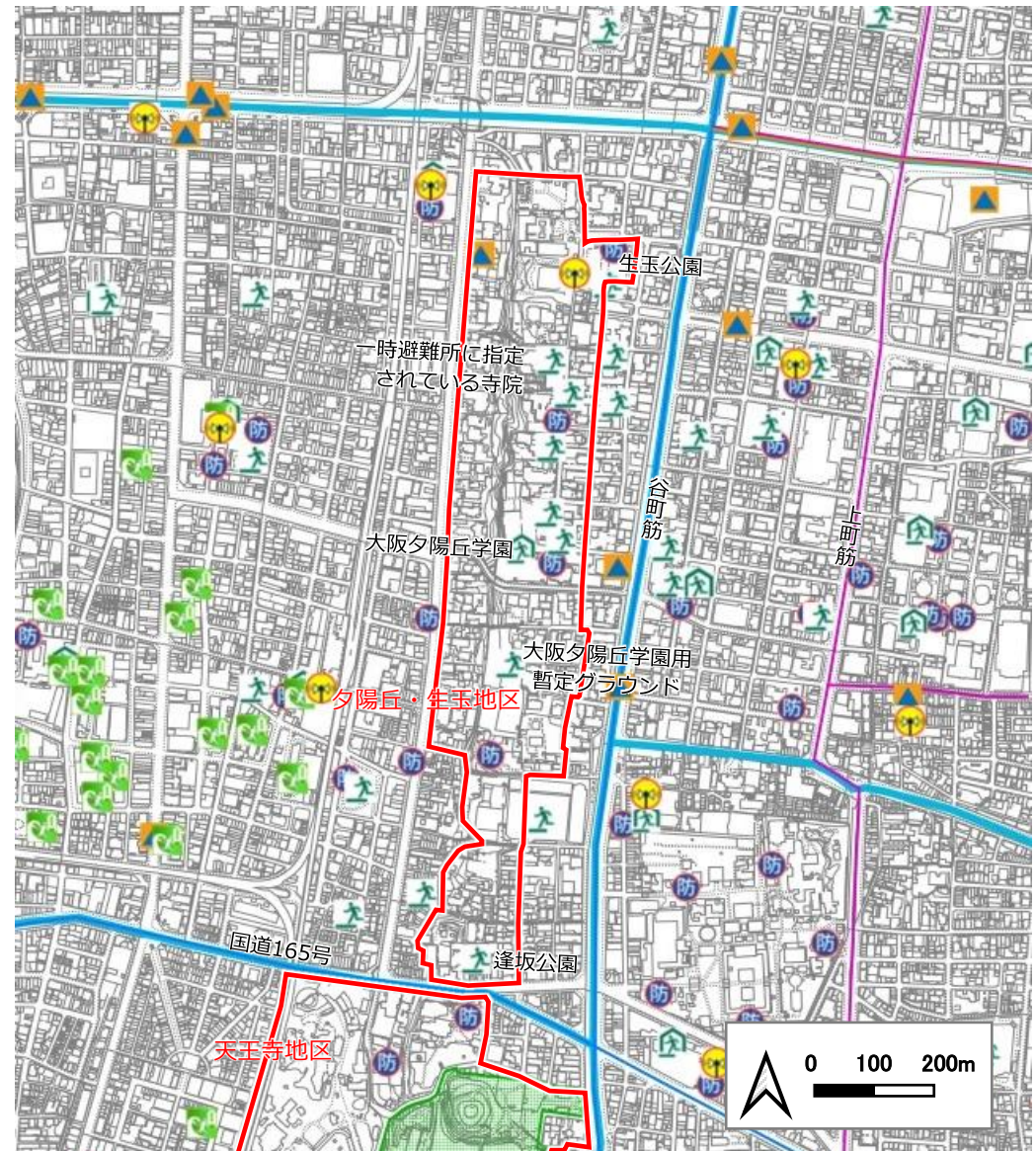
1984～1986年(国土地理院撮影)



2023年(マップナビおおさか)

(10)地域防災計画

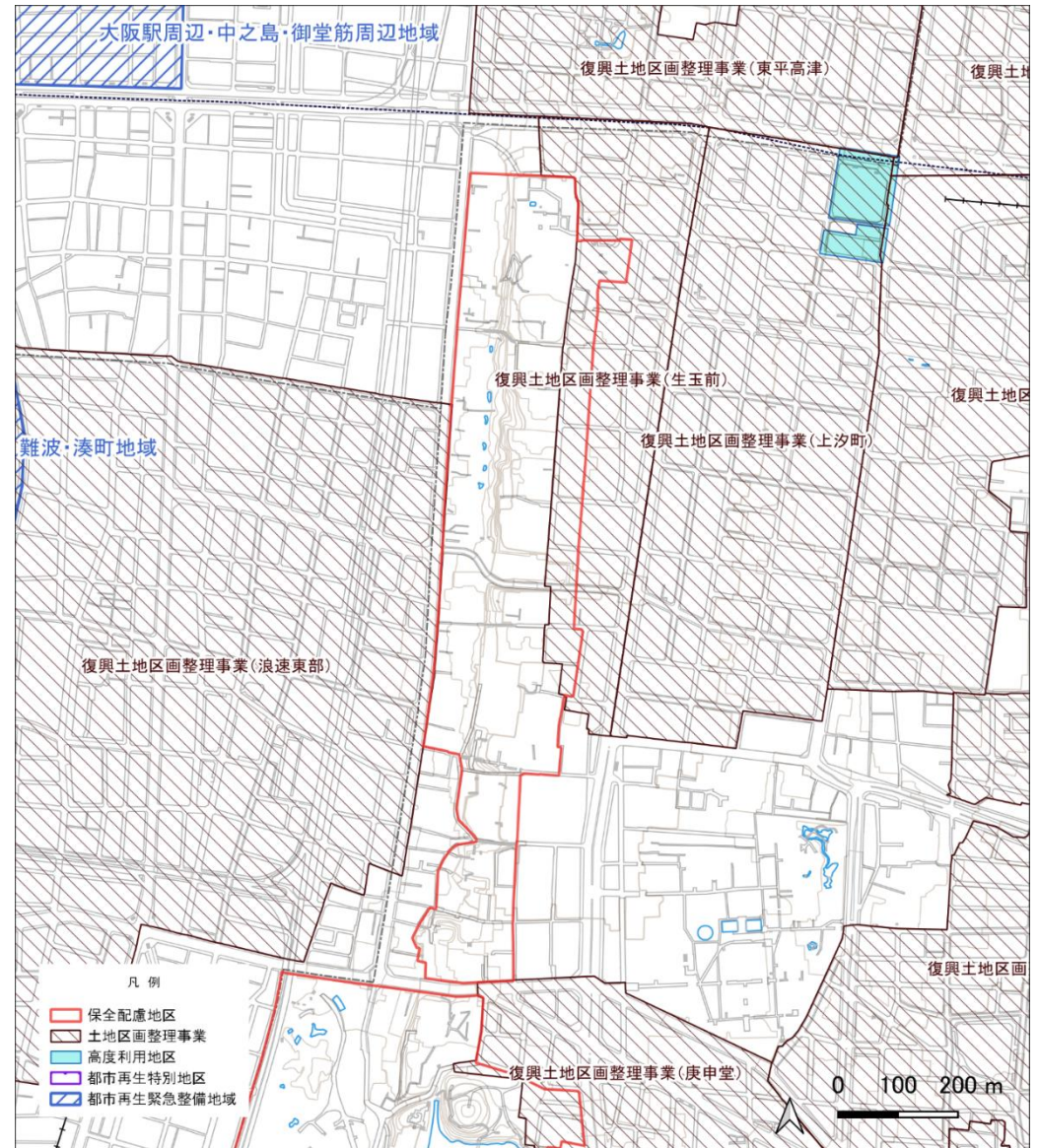
- 大阪市地域防災計画では、生玉公園、逢坂公園および右図の各寺院と大阪夕陽丘学園用暫定グラウンドが一時避難場所に、大阪夕陽丘学園が一時避難場所および災害時避難所に指定されている。
- 地区北側の千日前通などが避難路に、地区東側の谷町筋や南側の国道165号が緊急交通路(重点14路線)および避難路に、地区東側の上町筋が緊急交通路(重点14路線以外)に指定されている。



地域防災計画における避難場所・避難所、緊急交通路等

(11)開発状況

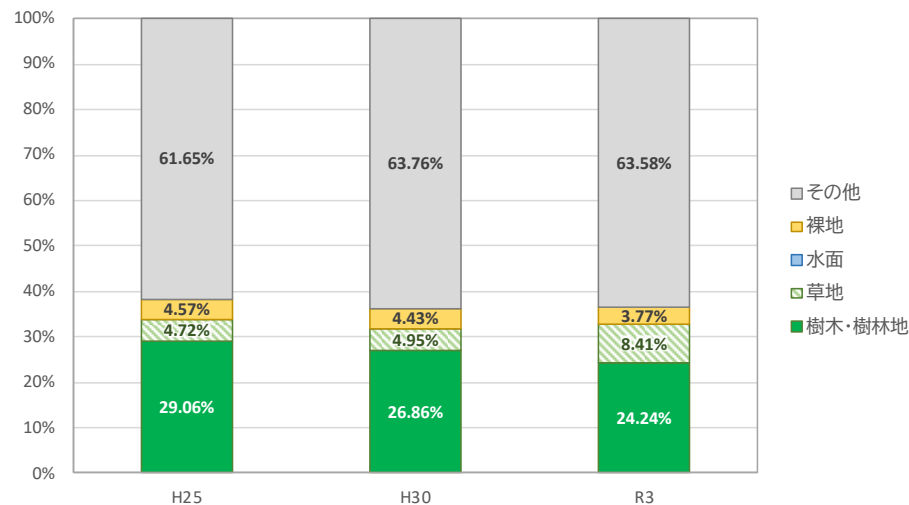
- 土地区画整理事業等の状況は右図のとおりで、現在、事業中の区画整理等はない。
- 地区の北西側および西側に都市再生緊急整備地域の「大阪城周辺・中之島・御堂筋地域」と「難波・湊町地域」がある。



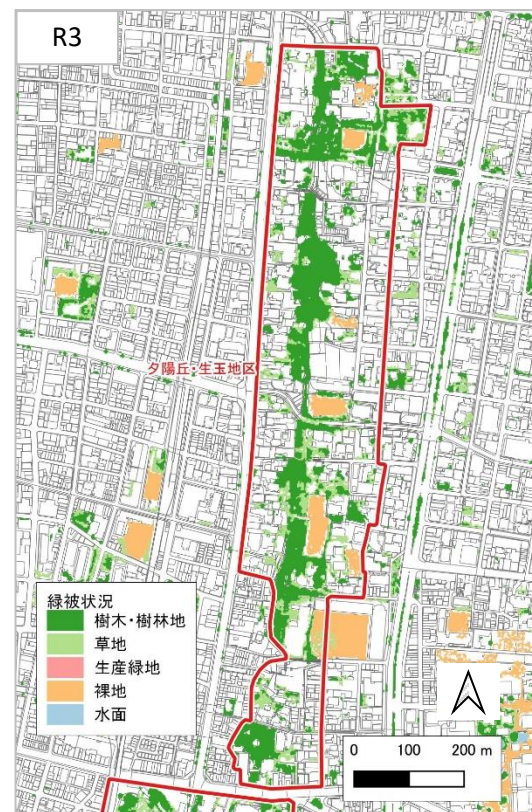
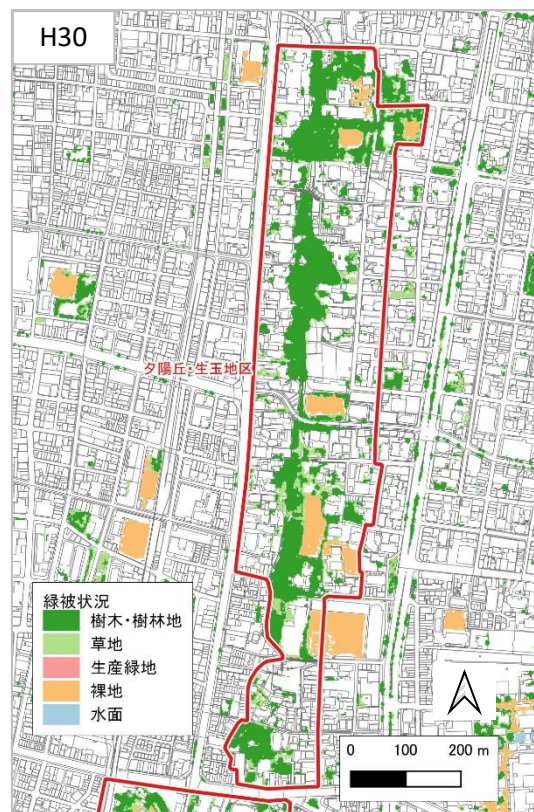
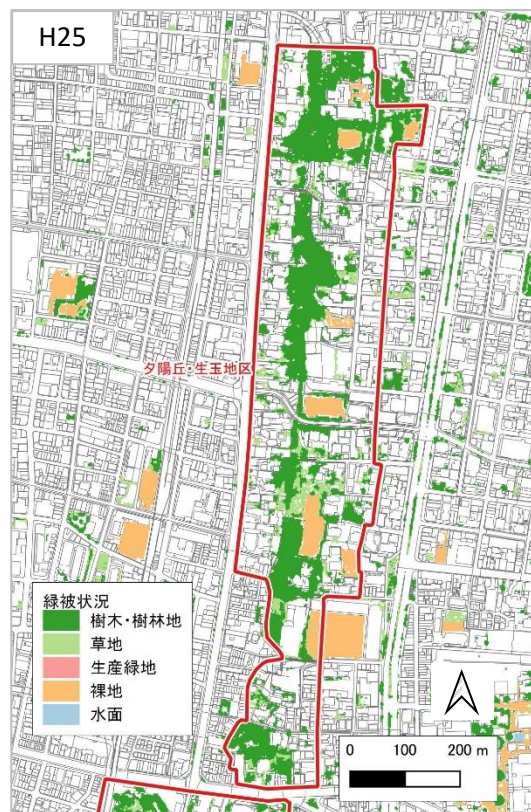
土地区画整理事業等位置図

(12) 緑被の状況

- 地区の北部の生國魂神社および生玉公園の区域と、寺院等の境内地に位置する上町台地西端の斜面部に、特にまとまった緑が残っている。
- 地区内の緑被率(樹木・樹林地、草地)は 概ね30%程度で推移している。内訳をみると、樹木・樹林地の面積が減少し、草地の面積が増加している。



緑被の状況



3. 現地調査結果

(1) 生玉公園周辺～口縄坂の区域

〈生玉公園（西側）〉

- 斜面を活かした施設配置となっており、地形の起伏を感じることができる。



〈源聖寺坂〉

- 石畳や両側の敷地内の植栽により風情ある景観となっている。



〈真言坂〉（保全配慮地区外）

- 両側がマンションとなっており、歴史を感じられる景観となっていない。



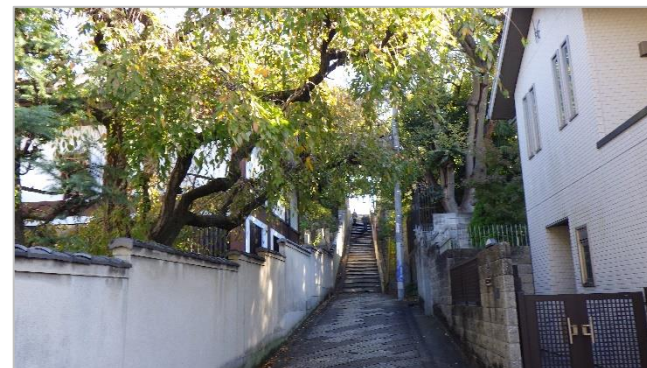
〈生玉公園（東側）〉

- 樹木や休憩施設が配置され、オープンな広場空間となっている。



〈口縄坂〉

- 両側の敷地からはみ出す樹木により緑豊かな空間となっている。



(2) 源聖寺坂～口縄坂の区域

〈愛染坂〉

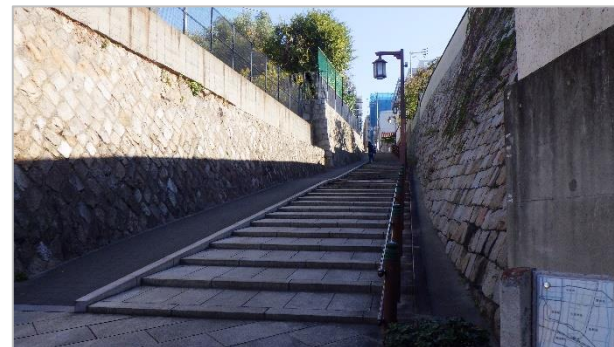
- 隣接する大江神社の敷地のみどりを感じることができる。



(大江神社)

〈清水坂〉

- 両側が石積みとなっている。石積みの上部はが学校、墓地であり、樹木が少なく開けた空間となっている。



〈天神坂〉

- 隣接する大江神社の敷地のみどりを感じることができる。



〈逢坂（保全配慮地区外）〉

- 他の天王寺七坂と異なり、幅員が広く交通量が多い道路となっている。



〈安居神社〉

- 敷地外からも境内の大きな樹木を確認できる。

